

3年保健体育科 学習指導案 授業者 君和田雅子

1 題材の概要

題材名 「 他者ととともに生きる身体と心を育てる—役割を限定しないフォークダンスの授業 」

	目標	評価規準	評価資料
知識 ・技能	オクラホマミクサーの特徴を捉え、パートナーチェンジ、バルソビアナポジション等の言葉や、ステップの特徴を理解して楽しむ。	オクラホマミクサーの特徴を捉え、パートナーチェンジ、バルソビアナポジション等の言葉や、ステップの特徴を理解している。	ワークシート 授業観察
思考 ・判断 ・表現	リードする側、リードされる側それぞれの立場を経験して、楽しくスムーズに踊るための合理的な解決を工夫する。	リードする側、リードされる側それぞれの立場を経験して、楽しくスムーズに踊るための合理的な解決を工夫している。	ワークシート
主体的に 学習に取り 組む態度	誰とでも楽しく、役割を限定せずにひとりひとりの違いに応じた表現を大切に踊る。	誰とでも楽しく、役割を限定せずにひとりひとりの違いに応じた表現を大切に踊っている。	毎時間のふり かえり 授業観察

2 単元の展開

単元の流れ（全8時間）

1	オリエンテーション 「ウォーミングアップダンス8421進化版」
2	「ケンケンパーからヒップホップへ」 DKW：おへそで踊ろう ダウンで決める
3	「ロックのリズムで動く・止まる」 DKW：ビートを刻んでノリノリダンス」
4	変化とまとまりを付けて「オリジナル作品作り—
5	ミニ発表会」DKW：メリハリ・ノリノリ 群(集団)の動きを意識しよう
6	フォークダンスを踊ろう「春駒」 DKW:元気よく弾んで
7	フォークダンスを踊ろう「オクラホマミクサー」 DKW:どちらのパートも体験して、リードするコ ツ・されるコツを考えよう
8	ダンスまとめ

本時の目標

- ・踊り方の特徴をとらえ、楽しく踊る。
- ・役割の違いにかかわらず相手も自分も動きやすいようにコツをつかむ。

1. 踊りの由来を理解し、動きを大づかみに捉えて踊る（5分）
2. バルソビアナポジションを組む
3. パートナーチェンジのとりだし
4. 踊ってみる（10分）
5. 内側円と外側円を交代して2,3,4を再現、踊ってみる（10分）
6. どちらのポジションも経験⇒リードするコツ、リードされるコツを知り、どうすればスムーズに楽しく踊れるかを工夫してみる。（10分）
7. 工夫したことや気づいたことを交換して、もう一度踊ってみる（5分）
8. まとめ「ポジション、リードするときの手の位置、力加減など、やってみてわかること」

保健体育科研究授業での、創造的活動×創造的思考×教科の見方・考え方

①創造的活動

どちらのポジションも経験して、相手も自分も気持ちよく踊るためにはどうしたらいいか、動きながら工夫する。

②創造的思考

2人組の動きの違いとペアの動き方のコツを、一方に偏らずに両方の役割を体験することで、動きをもってお互いにスムーズに楽しく踊る方法を考えたり、工夫したりする。

③見方・考え方

伝承や伝統の型のなかで、役割を限定せずに丸ごとの動きを体験し、身体を介したコミュニケーションの力を拓く。

授業づくりで目指したこと

どちらのポジションも経験⇒リードするコツ、リードされるコツを知り、どうすればスムーズに楽しく踊れるかを一人一人が考える

2人組でコンタクトして踊ることで、相手への信頼感が生まれるように

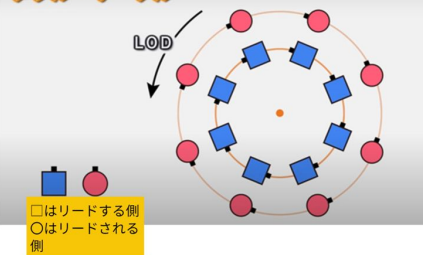
相手も自分も動きやすいようにするにはどうしたらいいか

ポジション、リードするときの手の位置、力加減など、やってみてわかること

体格差をどうすれば解決できる？
問いかけや示範を通じて考える
「個に応じるということ」

気持ちに無理なく寄り添いながら授業をつくるには

ダブル・サークル



バルソビアナポジション



授業のふりかえり

・実際に踊ってみて

・両方の立場を経験してわかったこと

役割を限定せずにどちらの側も経験してみよう